



令和4年度

清水幼稚園の教育

《診断編》

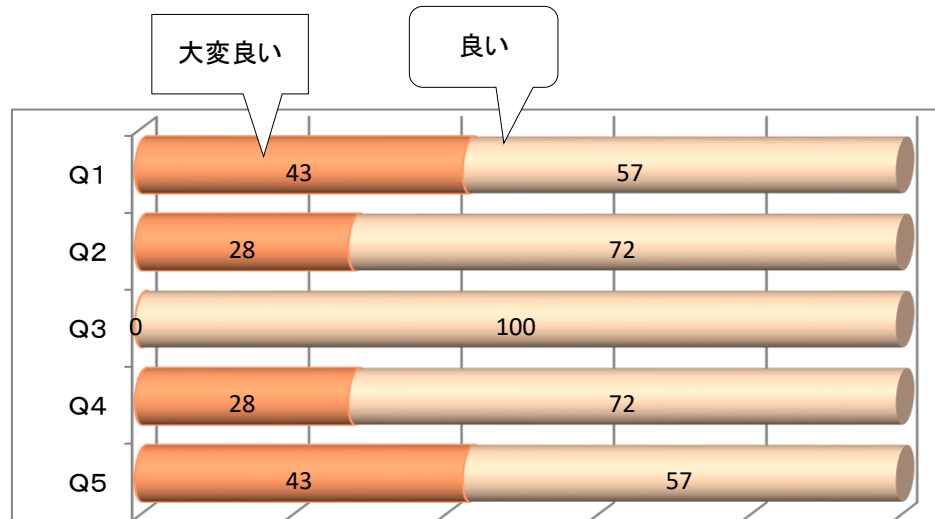


『いきいき のびのび 子どもの笑顔あふれる幼稚園』

《教育目標》 *げんきな子・やさしい子・がんばる子*
きびきび にこにこ のびのび

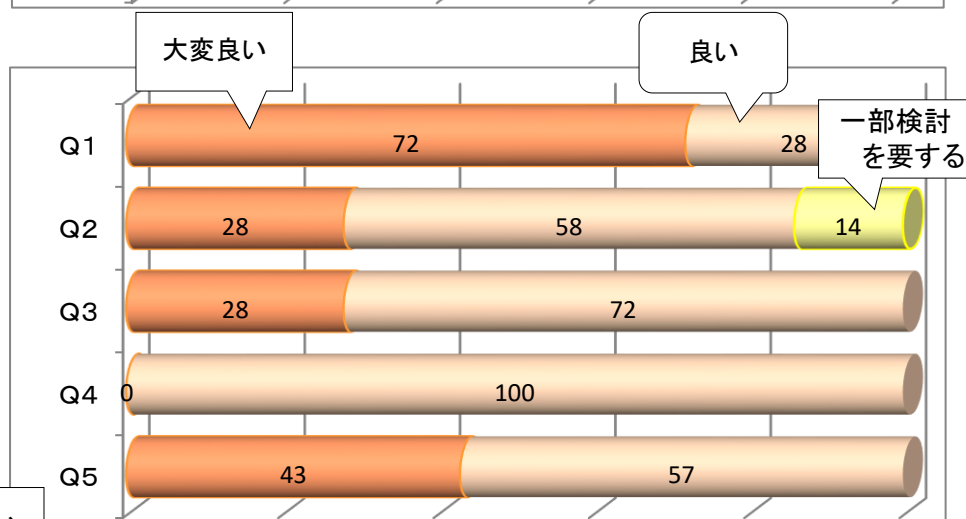
◇教育目標・経営方針

昭和53年4月13日に開園された本園です。教育目標「げんきなこ子 やさしい子 がんばる子」として設立されました。
Q1 教育目標の具現化に向け、幼児の実態を踏まえた経営の重点を設定しているか。
Q2 目標は、園や地域の特色を生かしているか。
Q3 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。
Q4 経営方針は、前年度の反省を生かしているか。
Q5 方針は全職員で検討し、共通理解を図っているか。
○**おおむね良好な評価を得ている。**
教育目標の具現化に向け、幼児の実態に合わせた設定はできている。コロナ禍を考慮し、教育目標に迫るためには、全教職員による検討、共通理解が組織体としての基本土壌と考えており、閉園最終年度として、保護者の願いも受けとめながら、目標の具現化をしてきた。



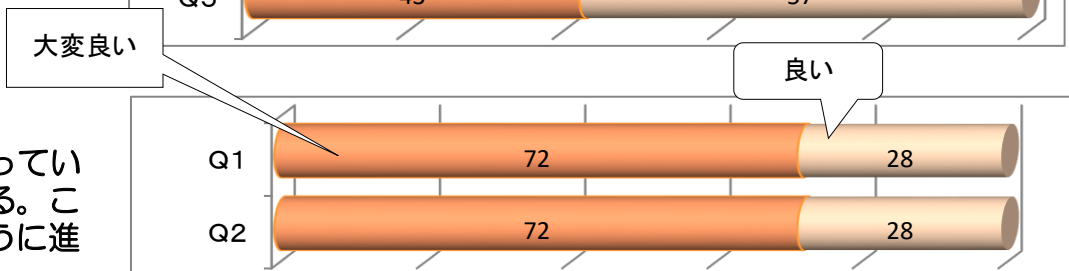
◇指導について

Q1 指導計画は、幼児の実態に即して作成しているか。
Q2 幼稚園教育要領に基づく指導援助が適切に行われているか。
Q3 環境構成を考慮した指導の方法や過程を工夫しているか。
Q4 教材・教具を適切に活用しているか。
Q5 評価結果を基に、指導の改善に努めているか。
○**おおむね良好な評価を得ている。**
幼児が主体的意欲的に遊び込める時間の設定や環境構成の在り方、教材の活用などに日々工夫してきた。



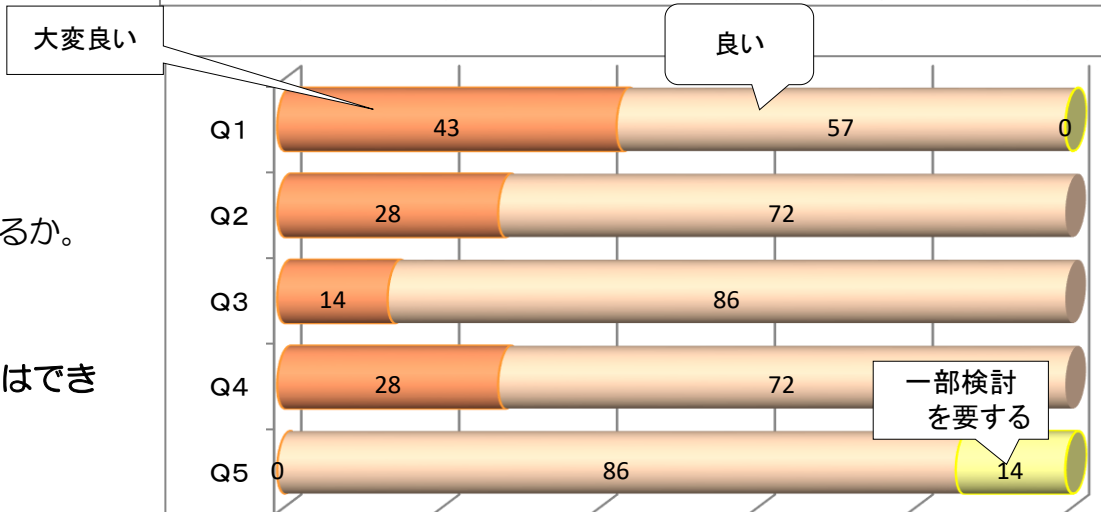
◇教育課程

Q1 教育週数を確保しているか。
Q2 登園・降園時刻と一日の流れは現行でよいのか。
○**おおむね良好な評価を得ている。**
幼稚園教育要領に基づいて教育課程を編成し、実践・評価を行っている。指導主事に学校教育指導訪問を要請し、指導助言を受けている。こども園むけての移行の年なので、保育所との交流が多くできるように進めてきた。



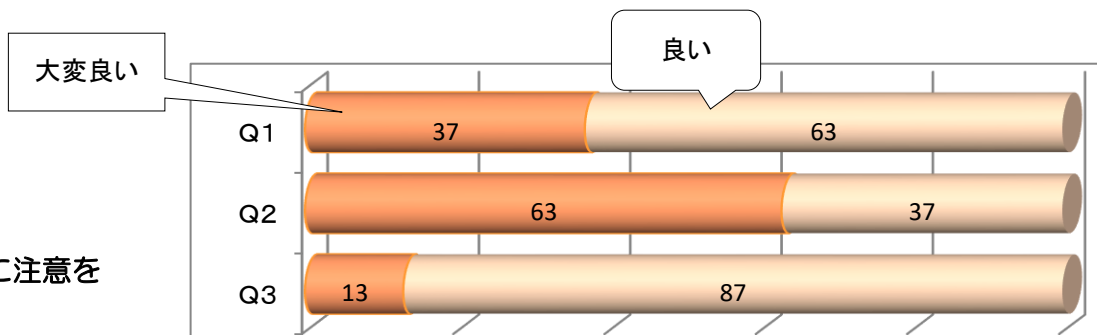
◇行事について

Q1 行事の種類や実施回数は適切か。
Q2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。
Q3 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。
Q4 計画・実践・評価・改善の体制をとっているか。
Q5 保護者の願いや意見を取り入れているか。
○**おおむね良好な評価を得ている。**
コロナ禍ということもあり保護者の願いを全て取り入れることはできていないができる限りの対応をしてきた。



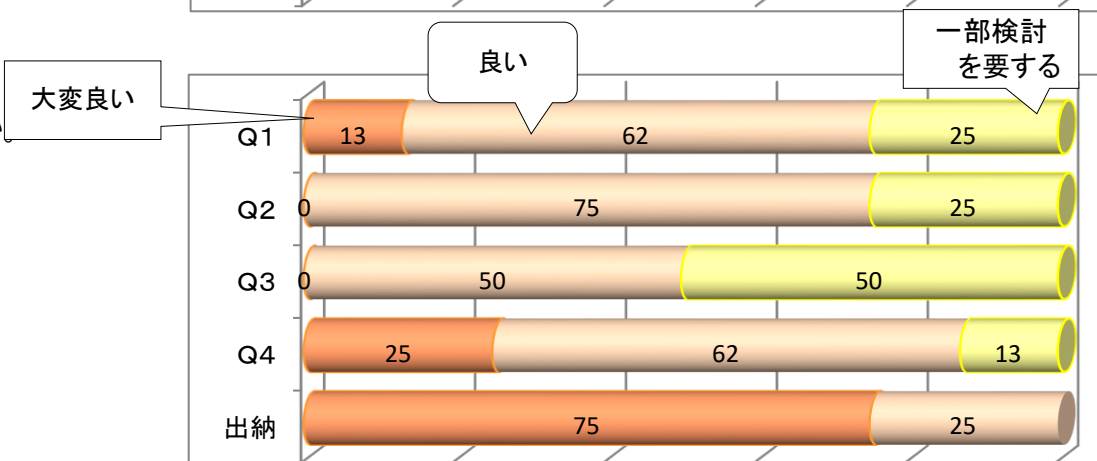
◇情報

Q1 幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。
Q2 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。
Q3 表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。
○**おおむね良好な評価を得ている。**
・個人情報については、文書だけでなく、映像や写真の扱いも十分に注意を払ってきた。



◇施設・設備・出納経理

Q1 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。
Q2 遊具・用具・教材等を活用しやすいように整理・保管しているか。
Q3 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。
Q4 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。
出納：各種会計を適正かつ適切に処理しているか。
○**おおむね良好な評価を得ている。**
・施設・設備の老朽化に伴い、日々細やかな点検をしてきた。
・不審者対応について、様々な想定を考えて備えていく必要がある。



◇開かれた幼稚園づくり

〈学校間交流・連携〉

- Q 1 他校種との年間交流計画は、教育目標や課題に添ったものか。
Q 2 他校種の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうような配慮や援助・指導を行っているか。
Q 3 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。
Q 4 参観や指導に参加するなど、他校種の教育を理解しているか。

○Q 5 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。

○良好な部分もあるが改善が必要な部分もある。

- ・今年度もコロナ対策でなかなか交流ができず、互いの教育を理解するという部分では課題が残るが、公開研究会などを通して幼稚園を知ってもらう工夫はできた。
- ・高校生との交流については今後も継続していきたい。
- ・幼保小連携は、会議の時期や内容・取り組み方に改善が必要と思う。

〈家庭・地域社会との連携〉

- Q 1 保育所や小学校と連携しながら交流を図っているか。
Q 2 保育所を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。
Q 3 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。
Q 4 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。

○おおむね良好の評価を得ている。

- ・Q 4については、コロナ禍のためにできなかった部分もあった。今後、こども園に統合することもあり、活動の検討をしていく。

◇経営・組織

〈分掌・体制〉

- Q 1 能率的、合理的な運営組織になっているか。
Q 2 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。
Q 3 職員の配置は適材・適所か。
Q 4 係や仕事の分担・割当は適切か。

○おおむね良好な評価を得ている。

〈運営〉

- Q 1 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。
Q 2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく園の運営に関わっているか。
Q 3 打合せ回数、時間、内容は適切か。

○おおむね良好な評価を得ている。

〈学級経営〉

- Q 1 クラス目標は、教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。
Q 2 クラス目標は、幼児の実態に即して設定しているか。
Q 3 クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。
Q 4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。
Q 5 意義や趣旨を理解したティーム保育を行っているか。
Q 6 評価、資料（諸記録）を集積しているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

〈保健・安全指導〉

- Q 1 学級経営に生かされるよう、具体的保健指導を講じているか。
Q 2 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。
Q 3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行たか。
Q 4 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

◇研究・研修

- 内Q 1 研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものであるか。
内Q 2 園内研修の計画・運営は適切であるか。
内Q 3 研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか。
内Q 4 研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。
外Q 1 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。
外Q 2 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

- ・より主題を意識した保育を心掛けることができていた。
- ・園外研修にははオンデマンド、オンラインの他に感染対策をとりながらの研修参加を進めた。
- ・園内研究・研修の果が管内研清水大会の成功にあらわれた。
- ・スーパーバイザーや指導主事訪問を行い、有意義な研修ができた。

